

みんなに発信したい！
自然豊かな平石で丈夫な体
と豊かな心を育てる保育

社会福祉法人 わたり福祉会
さくらみなみ保育園



さくらみなみ保育園って どんなところ？

- ▶ 田畑に囲まれた自然豊かな環境
が一番の特徴です。



＜地域交流を大事に＞

小学校との交流や、隣にある“はなしのぶ”のお年寄りとの交流、お米名人との田植えや稲刈りなど、地域に支えられ、様々な経験をしています

わっしょい わっしょい



田植え



＜あそびを豊かに＞

メディアに触れる機会も多くなりがちなか中、
自然やイメージの世界を友だちと一緒に楽し
んでほしい、そんな思いで保育をしています。
子ども達は自然をよく知っています。
虫探し・花摘み・野菜の収穫、散歩、水遊
び・雪遊びなど、移り行く季節を五感で感
じながら、平石の自然の中で感性豊かに育
ちます



そんなさくらみなみ保育園の自然豊かな特色を生かした 2024年度の取り組みを紹介したいと思います



自然保育PART 1

【自然環境を活かした保育 ～栽培とクッキング～】

- ▶ 畑や田んぼに囲まれ、**野菜やお米**を育てています。毎日観察しながら、収穫を楽しみに待ちます。
- ▶ 稲刈りの後の田んぼで見つけたたくさんのイナゴ。捕まえて遊んでいると保育者がイナゴは佃煮にして食べられることを伝えると「**たべたい！**」と、夢中になって捕まえました。そんな姿を見た他のクラスの子どもたちも「**てつだってあげる**」とイナゴ捕りに協力してくれました。イナゴは佃煮だけでなく、捨ててしまう足の部分も“イナゴみそ”にして昼食に味わって楽しみました。

▶ 収穫した大豆を使って味噌を作ったり、大根を干して、しみ大根を作り煮物にして味わったりと、身近な食べ物の作る工程も知りながら、**クッキングやルッキング**を楽しむことも、安心安全の給食の大事な柱の一つです。また、保護者への発信も大切にしています。



自然保育PART 2

【日本の文化を大事にする保育 ～伝統文化～】

- ▶ 荒馬(年長児)・竹おどり(年中児)など、東北地方に伝わる**民舞**を保育に取り入れています。難しいステップに挑戦し、友だちと力を合わせてつながり協力し合う心も育ちます。昔から荒馬は豊作を祝って踊られてきました。保育園の稲刈りの後、さくら保育園の年長児と荒馬発表会をします。
- ▶ 伝統文化の一つとして、**和太鼓**にも取り組んでいます。子どもも職員もワークショップでプロによる指導を受け、夏まつりなどで発表しています。
- ▶ 親子で**伝統文化**に触れたり、プロの演技に触れたり、直接体験することを大切にしています。



自然保育PART3

【子どもの思いを表現する保育 ～造形美術～】

- ▶ 種から育てた人参をたくさん収穫した時、「ここは ぐろくなってるね」「このにんじんの はって ながいね」と見て気付いたり、子どもの心が動いた時、それを表現し、大好きな誰かに伝えようとしています。表現方法の一つとして、作ったり、描いたりする**造形美術**があります。

- ▶ 様々な素材や技法に出会い、絵の具の濃淡を発見し「こっちのほうが いろがうすいから みずをおおくしたんだ」と子どもの表現したい思いを大事に取り組んでいきます。



自然保育PART4

【地域とのつながりを大事にする保育 ～地域交流～】

- ▶ 保育園は、地域の方々に見守っていただきながら毎日の生活を送っています。散歩先で声をかけてもらったり、田植えや稲刈りをお手伝いいただいたり、地域の小学校との交流があったり、**地域の方とのつながり**のおかげで子どもたちの経験の幅も広がります。同じ平石地域にある高齢者施設に民舞を披露しに行ったり、田植えや稲刈りを通して、交流を続けていきます。



自然保育PART5

【保育を発信したい ～保育の見える化～】 ドキュメンテーションの活用

▶ **写真などを活用**しながら、子どもの素敵なところ、心が動いたところ、**子どもの気づきや魅力を記録**することです。写真とコメントを使って伝え、目に見えるように可視化した成長記録の書き方です。

▶ 「〇〇しました」だけの記録ではなく、子どもや保育者の**心が動いた場面の記録**であることが大切です。

保育者が子どもの姿にワクワクした記録だからこそ、保護者にも結果的に伝わる魅力的なものになり、**発達****の見える化**を可能にした記録の取り方です。

あっ！ガンダムのたまごだ！
もうすぐ あかちゃんガンダム
うまれるかなあ。



ドキュメンテーションの意義

- ▶ 保育ドキュメンテーションは、働き方を変えると同時に**保育の質を高める対話のツール。**
- ▶ 自分との対話(毎日のちょっとした振り返りで**子ども理解が深まります。**)
- ▶ 同僚との対話(同僚と話し合う風土ができ、**人間関係を良好にします。**)
- ▶ 保護者との対話(保護者に保育の見える化がなされ、**自然豊かな環境下での保育や生活体験を共有することで、保育内容が伝わり保護者との信頼関係が深まります。**)
- ▶ ICT化で**時間短縮**、あれもこれも別々に書くのを軽減させ働き方改革にもつなげることが可能です。

参考：①第48回全国保育士会コース別研修

“保育の見える化に向けたドキュメンテーションの活用”

玉川大学 大豆生田啓友氏より

②『写真とコメントを使って伝えるヴィジブルな保育記録

のススメ』鈴木出版株式会社

小泉裕子、佐藤康富氏著書より

子どもの様子りんご・すいか組 5月1日(月) 記入者 O

日誌例

人参の種まき

たねをいれたら
おふとん(土)
かけるんだね



やさしく
かけよう



ふとんをかけ
るんだよね



あ！
あったあった



とれた！！



みて！！
こんなにとったよ

今日は、りんご、すいか組合同で人参の種まきをしました。用務員のYさんに種まきの仕方を教えてもらい、「おふとん(土) かけるんだよね」「やさしくだよ」等話しながら、優しく土をかけていました。すいか組がりんご組の秋に種まきした絹さやの収穫をし、すいか組の子たちが、筋とりをしてくれました。

以前もやったことがあるため、「つめで やるといいよね」「あ！とれたよ」「かんたん」等、話す子ども達です。筋とりした絹さやはお昼に食べました。



とれたよ

ドキュメンテーション例

だいじょうぶ？

早く行きたくて走り出した友だちが、転んで悲しそうにしていることに気付くと、優しく声をかけるAくん。声をかけた後、手についた砂に気付き優しくはらってくれました。友だちを思いやる優しい気持ちも育った姿を保護者さんにもより分かりやすく伝えたい、そんな思いを形にしたのがドキュメンテーションの取り組みです。

はやく いきたかった だけなのに。ころんでいたいし。はやくもいけなくてかなしいよ。。



今年度の取り組みまとめ

▶ 1, 自然環境を活かした保育 ～栽培とクッキング～

→毎日食べている米や野菜を育てできるまでの過程を知る。楽しくクッキングをして食への興味を育てながらおいしくいただき健康な体づくりをする。

▶ 2, 日本の文化を大事にする保育 ～伝統文化～

→昔から東北地方に伝わる伝統文化に触れ、豊作を祝って踊られた由来を知る。

▶ 3, 子どもの思いを表現する保育 ～造形美術～

→自然の中で経験した思いを、造形美術を通して表現する。

▶ 4, 地域とのつながりを大事にする保育 ～地域交流～

→地域の米名人に稲作を教わり、直接体験する。地域の中で荒馬を披露する。

▶ 5, 保育を発信したい ～保育の見える化～

→豊かな自然の中で経験したこと、成長した姿を保護者さんにより分かりやすい形で発信する。

よもぎクッキー作ったよ！



おくらは おほしさまだ！